

東京都地域防災計画 震災編（令和元年修正）の概要

1. 修正の背景

近年、全国各地で発生した大地震の教訓等の具体化をはじめとして、女性視点の防災対策の推進、増加する訪都外国人への対応、防災まちづくりやICT等新技術の進展など、震災対策を取り巻く最新の動向を踏まえた取組を反映するとともに、東京2020大会を見据え、震災対策の実効性をより一層向上させる

2. 主な反映内容

重点的に取り組む施策について、以下の3つの視点に基づき、新たな取組と更なる充実・強化を図る取組を反映

視点

新たな取組の反映

更なる充実・強化を図る取組

女性・外国人等要配慮者

- 災害時に避難所ともなる公立学校の屋内体育施設の空調設置を支援
- 災害時の乳児用液体ミルクの調達・提供



平成30年7月豪雨で設置された冷房

- 「東京都防災アプリ」等を活用した災害情報の多言語配信
- 「東京くらし防災」等を踏まえた、女性視点の防災対策の充実



近年地震の教訓を具体化

- 区市町村庁舎の非常用電源設置等の支援
- 災害時にスマートフォン等の充電にも活用できる太陽光パネルの設置や、非常用電源としても有効な電気自動車等の導入を促進



バス停留所に設置された太陽光発電設備

- 公立学校や私立学校等におけるブロック塀対策の支援
- 民間事業者との協定締結等による応急危険度判定体制の強化



対策が必要なブロック塀

地震に強いまちづくり

- 仮想現実(VR)機能を活用した防火防災訓練
- ツイッター分析ツールによる災害情報の収集分析



VR防災体験車

- 都道における無電柱化を一層推進
- 区市町村の無電柱化事業の支援を強化



清澄通りの整備例